

資料3-2

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会  
 共同利用・共同研究拠点に関する作業部会(第6期-第4回)  
 H24.10.24

共同利用・共同研究拠点 中間評価用調書(案)

第3回資料を赤字で修正

塗りつぶしは報告書等に  
 既存の項目

【I. 研究施設の概要】

(注) 研究施設の一部(附属センター等)が拠点となっている場合、その部分を切り出して記載してください。

1. 目的・概要

大学名		学長名	
研究施設名		研究施設代表者名	
研究拠点の名称			
目的・概要 (研究施設として)			

2. 人員

※…外数を記載

	平成21年度(H21.5.1現在)					平成22年度(H22.5.1現在)					平成23年度(H23.5.1現在)					平成24年度(H24.5.1現在)				
	②-1 任期制 導入状 況					②-1 任期制 導入状 況					②-1 任期制 導入状 況					②-1 任期制 導入状 況				
	現員数	(女性数)	(外国人数)	(併任教員数)	(任期付教員数)	現員数	(女性数)	(外国人数)	(併任教員数)	(任期付教員数)	現員数	(女性数)	(外国人数)	(併任教員数)	(任期付教員数)	現員数	(女性数)	(外国人数)	(併任教員数)	(任期付教員数)
教授				※					※					※					※	
助教授 准教授																				
講師																				
助教																				
助手																				
技術 職員																				
事務 職員																				
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 3. 予算の状況

○歳出決算額

[単位:千円]

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備考
	決算額	下記(注) 参照	決算額	下記(注) 参照	決算額	下記(注) 参照	
支出合計							
うち、運営委員会経費							
うち、共同研究費							
うち、共同研究旅費							
うち、設備費							
計	0	0	0	0	0	0	

(注)項目には、決算額のうち国立大学法人運営費交付金(特別経費(全国共同利用・共同実施分))の額を記載願います。

### 4. 研究施設の研究実績等

(1)研究施設における研究成果の概要

年月	研究成果の概要	学術的意義又は社会・経済・文化的意義	関係研究者名

## (2)競争的資金等の採択状況

〔単位:百万円〕

区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度			
	(上)申請件数 (下)採択件数	金額	(上)直接経費 (下)間接経費	(上)申請件数 (下)採択件数	(上)直接経費 (下)間接経費	(上)申請件数 (下)採択件数	金額	(上)直接経費 (下)間接経費
科学研究費								
特別推進研究		0		0		0		0
特定領域研究		0		0		0		0
新学術領域研究		0		0		0		0
基盤研究(S)		0		0		0		0
基盤研究(A)		0		0		0		0
基盤研究(B)		0		0		0		0
基盤研究(C)		0		0		0		0
萌芽研究	<p>※件数の上段には、申請件数(新規課題の申請件数と継続課題の申請件数の合計件数)を記入してください。</p> <p>※件数の下段には、採択件数(新規課題の採択件数と継続課題の採択件数の合計件数)を記入してください。</p> <p>※科学研究費のうち、特別研究員奨励費および奨励研究については含めないでください。</p>							
若手研究(S)								
若手研究(A)								
若手研究(B)								
研究活動スタート支援		0		0		0		0
研究成果公開促進費		0		0		0		0
特別研究促進費		0		0		0		0
学術創成研究費		0		0		0		0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の補助金等		0		0		0		0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0

〔単位:件、百万円〕

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
民間等との 共同研究	件数				
	金額				
受託研究	件数				
	金額				
奨学寄付金	件数				
	金額				

(3) 主な受賞状況

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となったの研究課題名
※過去5年間における主な受賞状況を記載してください。(上限10件まで)			

(4) 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位:人]

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外
博士号取得者数								

(注)大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、以下にその事情を記載いただき、あわせて上記に替わるデータを示すことができる場合は記載してください((1)~(4)共通)。

共同利用・共同研究拠点 中間評価用調書(案)

塗りつぶしは報告書等に  
既存の項目

【Ⅱ. 拠点の概要および共同利用・共同研究への取組状況】

1. 目的・概要・役割

研究施設名					研究施設代表者名		
研究拠点の名称							
共同利用・共同研究の形態	大型設備利用型		研究資料提供型		共同研究型		その他
研究分野							
目的・概要 (拠点として)							
拠点の役割	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ※ネットワーク型拠点の場合                      →各構成機関の果たすべき役割を記載してください。                      ※同一分野複数拠点の場合                      →当該分野における拠点毎の役割を記載してください。                 </div>						

2. 大学学則、大学組織規則等への記載状況

当該研究施設を記載している学則等  
(別紙として添付して下さい。)

3. 組織図

4. 運営委員会等の状況

(1) 運営委員会等の開催実績

委員会名等	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	回	回	回

(2) 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等

(別紙として添付して下さい。)

(3) 運営委員会等の所属者名等【平成24年度】

委員会名【】

氏名	所属機関名	役職名	専門分野

(4) 共同研究委員会等の所属者名等【平成24年度】(委員会を設置している場合に記入)

委員会名【】

氏名	所属機関名	役職名	専門分野

5. 共同利用・共同研究の募集、施設の募集、施設の利用要領等に関する情報発信

時期等	概要

6. 共同利用・共同研究課題の採択状況

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
応募件数(A)	件	件	件	件
採択件数(B)	件	件	件	件
採択率(B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

7. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	平成21年度					
	機関数	受入人数		延べ人数		
		外国人	大学院生	外国人	大学院生	
学内(法人内)						
国立大学						
公立大学						
私立大学						
大学共同利用機関法人						
独立行政法人等公的研究機関						
民間機関						
外国機関						
その他						
計	0	0	0	0	0	0

区分	平成22年度					
	機関数	受入人数		延べ人数		
		外国人	大学院生	外国人	大学院生	
学内(法人内)						
国立大学						
公立大学						
私立大学						
大学共同利用機関法人						
独立行政法人等公的研究機関						
民間機関						
外国機関						
その他						
計	0	0	0	0	0	0

区分	平成23年度					
	機関数	受入人数		延べ人数		
		外国人	大学院生	外国人	大学院生	
学内(法人内)						
国立大学						
公立大学						
私立大学						
大学共同利用機関法人						
独立行政法人等公的研究機関						
民間機関						
外国機関						
その他						
計	0	0	0	0	0	0

区分	平成24年度					
	機関数	受入人数		延べ人数		
		外国人	大学院生	外国人	大学院生	
学内(法人内)						
国立大学						
公立大学						
私立大学						
大学共同利用機関法人						
独立行政法人等公的研究機関						
民間機関						
外国機関						
その他						
計	0	0	0	0	0	0

8. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等

(1) 施設・設備の利用状況

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的			
		※数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。			
稼働状況		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
使用者の所属機関	年間使用人数	年間使用人数	年間使用人数	年間使用人数	
	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	
学内(法人内)					
国立大学					
公立大学					
私立大学					
大学共同利用機関法人					
独立行政法人等公的研究機関					
民間機関					
外国機関					
その他					
計					
稼働率		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度
年間稼働可能時間(a)					
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)					
共同利用に供した時間(c)					
共同利用以外の研究に供した時間(d)					
(c)、(d)以外の利用に供した時間					

(2) 学術資料の利用・提供・整備状況

資料名	資料の概要		整備の状況、利用・提供方法	
保有数/利用・提供状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
保有数				
利用・提供区分				
利用 件数	総利用件数			
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)			

(3) データベースの作成・公開状況

データベース名	蓄積情報の概要		公開方法	
蓄積量/利用・提供状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
蓄積量				
利用 件数	総利用件数			
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)			



9. 共同研究のための研究会・シンポジウム等の実施状況

年 度	シンポジウム		講演会・セミナー		研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
22										
23	※共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施した研究会等について記入してください。									
24										

○参加人数の算定方法

主な研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数
※対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください。					

10. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある共同研究活動

11. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組状況

12. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組

13. 関連分野発展への取組(大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築 等)

共同利用・共同研究拠点 中間評価用調書(案)

塗りつぶしは報告書等に  
既存の項目

【Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況】

1. 参加する研究者への支援体制の状況

(1) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
教員数	専任					
	兼任					
技術職員数	専任					
	兼任					
事務職員数	専任					
	兼任					

(2) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況

(東日本大震災で被災した研究者に対する支援を含む)

2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況

(共同研究者の研究スペースの確保、宿泊施設の確保等)

3. 参加する研究者の支援のための特色ある取組

4. 拠点活動に対する全学的な支援の状況(人員、予算を含む)

【IV. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況】

1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組とその対応状況

※特に、認定申請時に要望書を添付した研究者コミュニティの意見把握への取組とその対応状況については、具体的に記載してください。

共同利用・共同研究拠点 中間評価用調書(案)

塗りつぶしは報告書等に  
既存の項目

【V. 共同利用・共同研究による成果】

1. 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数 (研究者がファーストオーサーであるものを対象)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
論文数			
うち国際学術誌に掲載された論文数			

(注)分野の特性を踏まえて、研究者がファーストオーサーである場合の他に、論文における重要な役割を果たした実績を示す必要がある場合は、その役割を明示の上で論文数を記載してください。

役割	平成22年度	平成23年度	平成24年度
論文数			
うち国際学術誌に掲載された論文数			

※ 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主なものを以下に記載願います。 ~~なお、インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は適切な指標を用いて選定して下さい。~~

掲載雑誌名	掲載論文数	主なもの	
		論文名	発表者名

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載してください。

インパクトファクター以外の指標とその理由		主なもの	
掲載雑誌名	掲載論文数	論文名	発表者名

2. 共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果

--

3. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等

プロジェクト名	主な財源	プロジェクト期間	プロジェクトの概要

#### 4. 公開講座、公開講演会等の実施状況

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
22								
23								
24								

#### ○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

※対象欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください。

■ 塗りつぶしは報告書等に  
既存の項目

【VI. ネットワーク型拠点の**特徴的**事業実績及び**相乗**効果】



■ 塗りつぶしは報告書等に  
既存の項目

【Ⅶ. 拠点としての貢献(最終的なアウトカム)】

## 共同利用・共同研究拠点 中間評価用調書(案)

■ 塗りつぶしは報告書等に  
既存の項目

### 【参 考】

#### 1. 拠点を置く大学(法人)の機能強化・特色化への関わり

--

#### 2. 拠点としての現状の課題及び今後の展望

--